



こんにちは。准看護師・終末期ケア専門士の川島美由姫です。
入社して6年目に入りました。つながるファミリーに支えられ、叱咤激励をして頂き今の自分があります。訪問看護は大変であります、それ以上に利用者様、家族の方々、事業者の方々と「人」と「人」としての関わりの中で自分が知らず知らずのうち成長し、幸せに満ちている事に気がつく毎日です。

鬼は～外～！ 福は～内～！



【節分の由来】 今年は2月2日（日曜日）が節分です。

古代中国の「追儺（ついな）」という儀式にさかのぼります。
季節の変わり目は、体調を崩しやすい事から、邪気を払い無病息災を願う目的で行われるようになりました。そもそも鬼とは！中国から伝来し元々は「死者の魂」「死霊」という意味でした。日本に伝わると、姿の見えないものとして、隠(オ又)→オン→オニと読まれるようになりました。季節が変わる時に、見えない魔物(流行病い)を回避するために、「節分」という文化が生まれたとされます。インフルエンザが流行しています。手洗い・うがい・マスク、そして鬼を払いましょう！

「人」と「人」とのつながりを感じた訪問エピソード

沢山の利用者様との関わりの中で、色々なドラマがありました。
その中で、寂しい訪問看護の卒業となった方もみえました。
80代の男性独居。4年間に渡り介入し当初は、介入者に対して粗々しい口調で拒否的な姿勢がありましたが、徐々に心を許してくださり、頼ってくださるようになりました。

その間に、癌を乗り越えサービス支援も受けながら生活の維持ができていましたが、下肢動脈塞栓となり歩行困難となりました。本人は、このまま独居の生活を希望されるも、生活困難となり施設入所となりました。

訪問終了の時、大切に育てられていた黄色の牡丹の花を頂きました。大切に育てて欲しいと言われ、私の事も娘のように思っていてくださった事を知りました。私は自宅に植え、現在も大切に育てています。昨年は、綺麗な淡い黄色の大輪が見事に咲きました。写真を持って施設に、ご報告しに行きました。大変喜んで、素敵な笑顔が見れました。

今年もまた、花が咲く事を楽しみにしています。



【脳トレ】

Q: 「たびはみちづれ」の続きは何でしょう？

前回の答え
.様々なお医者さんが
10人います。1番遅かったのは何科のお医者さん？
答え: 獣医

つながる訪問看護リハビリステーション
〒502-0916
岐阜市西中島4丁目2番8 中日本アパレル1階
TEL 058-214-9077 FAX 058-214-9088
Email info@tsunagaru-kango.jp
HP <https://tsunagaru-kango.jp>

